

2011年 第35回 歴教協ヨーロッパの旅

# アウシュビッツとウィーン

ホロコーストの歴史を学ぶ 8日間

旅行期間 8月15日(月)～8月22日(月) 8日間

旅行費用 385,000円

実施人数 30名(最低実施人数20名)

添乗員 同行します 申込締切 7月8日(金)

定員になり次第締め切ります。お申込みはお早めに



- 解放66年を迎えたアウシュビッツ・ビルケナウ収容所をじっくり見学
- 中世の街並みを残すクラクフと戦後復興したワルシャワを訪れます

学習会 「欧州平和大学」から  
平和教育を学ぶ

6月19日(日)14:00～16:00

- ◆ 講師：松岡由季氏(観光コースでないウィーン(高文研)著者)
- ◆ 株式会社国際旅行社 会議室 資料代500円
- ◆ 実際に欧州平和大学で学んだ経験のある松岡由季さんに当時の学生たちの様子や、大学の社会的意義などをお話しいたできます。

※詳細は旅行社まで!

- ウィーンのレジスタンス博物館でその歴史を学びます
- 音楽と芸術の都ウィーンに連泊、街歩きもお楽しみ下さい

## 旅の

**お話し** 今回のヨーロッパ旅行はポーランドとオーストリアを訪れます。

ナショナリズムの嵐が吹き荒れる現在こそ歴史に学び、過去を直視する姿勢が求められています。アウシュビッツ、ビルケナウが私たちに突きつけるものは暴走したナショナリズムが何をもたらすか、ということです。2つの強制収容所を見学して、ここで何が行われたのか、なぜこのようなことが起こったのか、しっかりと考えて「心に刻む」ことができる旅行にできればと考えております。またポーランドはナチスドイツの侵略の被害国であり、ワルシャワの街は徹底的に破壊されました。しかし、戦後は壁のひび割れ一つに至るまで再現されました。破壊を免れたクラクフの街は現在でもヤゲヴォ朝の栄華を物語る遺跡の数々が大切に保存されています。

一方オーストリアはナチスドイツに併合され、侵略に加担した歴史を直視しながら、永世中立国として平和の維持に努めております。またウィーンの街では多民族共生によって築かれた伝統文化が大切に引き継がれております。このように「負の歴史」にも真摯に向き合いながら、歴史と伝統を大切にすることを学ぶべきものがあると思います。差別は戦争を生み出し、共生は文化を創造するということを伝統ある2つの国で学んでいきましょう。

団長：小野崎克彦(歴教協常任委員)

※申込書を兼ねた詳細な資料

TEL：03-3357-3377 FAX：03-3357-3317

をご請求下さい メール：harasawa@fits-tyo.com 歴教協の旅担当まで

企画

歴史教育者協議会

企画・実施

(株)富士国際旅行社